

大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程

ボランティア活動部～被災地と共に～

高校生ボランティア・アワード2024

被災地の高校生と共に！

本校は、大阪府堺市の伝統地場産業である「打ち刃物」と「線香」を学ぶ「堺学」という授業を行っています。2011年3月11日に発生した「東日本大震災」以来、毎年「堺学」の授業で製作した「包丁」と「線香」及び「義援金」を被災地を訪問して、直接手渡しています。また、被災地である岩手県釜石市のタブの木（線香の原料）を使い、被災地の宮城県農業高校・宮城県立支援学校女川高等学園の生徒が、校庭の桜の花びらを集めて乾燥させたものを本校生徒が線香に練りこんだ「コラボ桜線香」を作って、寄贈しました。販売活動もおこない、「義援金」として支援をさせていただきました。さらに宮城県農業高校へは、土砂災害を防ぐ「玉夢桜」の肥料を寄贈して、植樹活動に貢献しています。宮城県柴田農林高校とは、「一目千本桜再生プロジェクト」に取り組み、被災地の桜の景観を守る活動をおこなっています。岩手県大船渡東高校とは、被災地を椿の花でいっぱいにする「レッドカーペット・プロジェクト」にも取り組んでいます。宮城県農業高校と岩手県立大船渡東高校へは、これまでに寄贈した「包丁」の研ぎ直しのための訪問もして、交流を深めています。



宮城県農業高校との交流



土砂災害を防ぐ「玉夢桜」



宮城県農業高校とのコラボグッズ



女川高等支援とのコラボ線香



支援学校女川高等学園に「線香」の寄贈



「女川町3.11追悼式」で「線香」の配布



宮城県柴田農林高校との一目千本桜プロジェクト



宮城県大船渡東に「椿」の苗木・肥料の寄贈



岩手県立大船渡東高校に「包丁」と「線香」などの寄贈



岩手県大船渡東で「椿」の植樹



岩手県陸前高田市で「椿」の植樹



大船渡東高校と「レッドカーペット・プロジェクト」



椿の苗木の寄贈



「奇跡の一本松」のように！



椿の花から作った「線香」

「レッドカーペット・プロジェクト」

震災後、陸前高田市と大船渡市の中高生から、「私たちの地域は復興に失敗したのかもしれない」というお話を聞きました。私たちが「どうしてそう思うのですか？」と聞いたところ、「校舎から見る景色が震災前と違って、見渡す限り「ガレキの山」だから」という答えでした。私たちは言葉もなく、何としてでも、中高生が復興の実感が湧くようなプロジェクトをしたいと思います。私たちは、椿の産地であるこの地の見渡す限りの「ガレキの山」を椿の花でいっぱいにする誓いをしました！2019年から大船渡東高校の生徒さんが育てた「椿の苗木」を植樹しています。数年後に、椿の苗木が成長して、たくさんの赤い花が咲きほころぶ風景を、被災地の方々と一緒に見ることが楽しみです。

【被災地支援プロジェクト】

2011年3月11日に「東日本大震災」が発生し、9月に「東北支援プロジェクト」を立ち上げました。ボランティア活動部を中心に活動を行い、岩手県・宮城県・福島県の被災地を訪問して、現在も、自分たちが作った「包丁」・「線香」・「義援金」を手渡しています。近年は、寄贈した「包丁」の研ぎ直し訪問もおこない、被災地の方々との交流を深めています。各地で自然災害が多発していることから、「東北支援プロジェクト」を「被災地支援プロジェクト」として、14年にわたって支援活動を続けています。「能登半島地震」の「炊き出し隊」の方々には私たちが作った「包丁」を託しました。毎年のように被害がある「九州豪雨」・「熊本地震」・「北海道胆振東部地震」・「西日本豪雨」などの被災地支援活動を現在も続けています。



被災地支援の線香の製作



授業で作った被災地支援の「線香」



メッセージ入り「お線香」



被災地支援「包丁」の製作



メッセージ入り被災地支援「包丁」



授業で作った被災地支援の「包丁」



宮城県女川町から感謝状



岩手県釜石市から感謝状



被災地支援品の「注染でぬくいエコバッグ」と「お香立て」



大船渡東高校で「包丁」の研ぎ直し



ビフォー



アフター

【被災地支援活動を通じて学んだこと】

- 被災地訪問をして、多くの方々のお話を聞かせていただきました。
- ・当たり前のことが当たり前ではなくなる！
 - ・頑張れば、他人に言う言葉ではなくて、自分自身に言う言葉！
 - ・誰かのせいにならないと耐えられない悲しみってあるんだ



防災カルタ入り「線香」



被災地へのメッセージ